



アカニシ *Rapana venosa* および  
サキグロタマツメタ *Laguncula pulchella* による  
二枚貝への摂餌選択性



大野弘貴・安田風眞・南條楠土(水大校)・山本倫也・恵本佑(山口県)  
山村秀明(山口市)・足利由紀子(水辺に遊ぶ会)・須田有輔(水大校)

## 背景

- ・瀬戸内海西部の干潟では複数の二枚貝と肉食性巻貝の分布が重なる
- ・干潟で採集した摂餌痕のある二枚貝死殻の数は種によってばらつきが大きかった

特定の二枚貝が選択的に捕食されているのでは？

巻貝による二枚貝への選好性があるかもしれない



## 目的

肉食性巻貝のアカニシとサキグロタマツメタ, および同環境に生息するアサリやハマグリなどの二枚貝類を対象とし, 巻貝類の捕食行動と二枚貝類への摂餌選択性を検証することを目的とした.



1cm

アサリ



ハマグリ



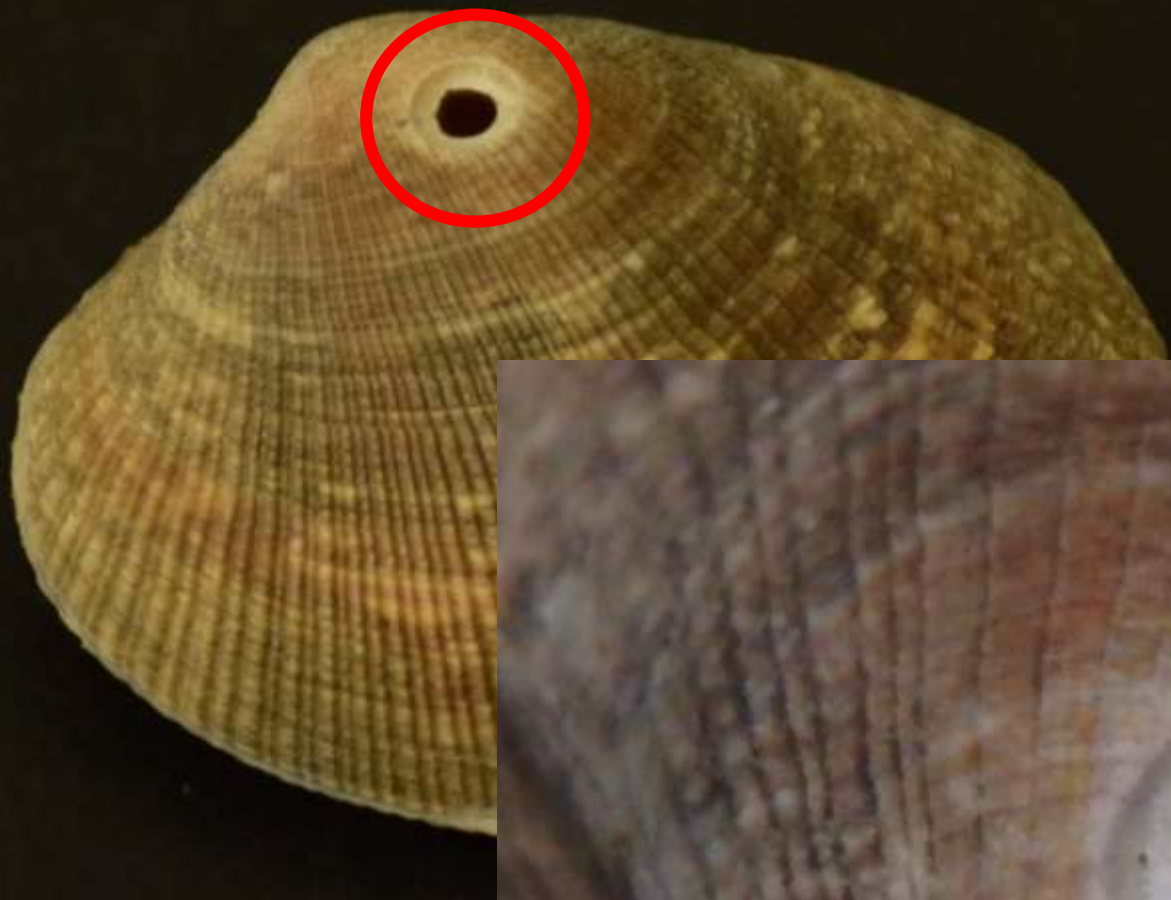




2018.06.17 22:04









1cm  
—



アカニシ



サキグロタマツメタ



アサリ



ユウシオガイ



シオフキ



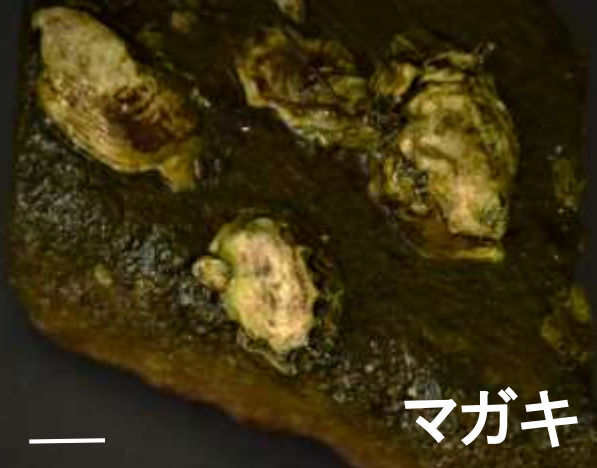
オキシジミ



ヒメシラトリ



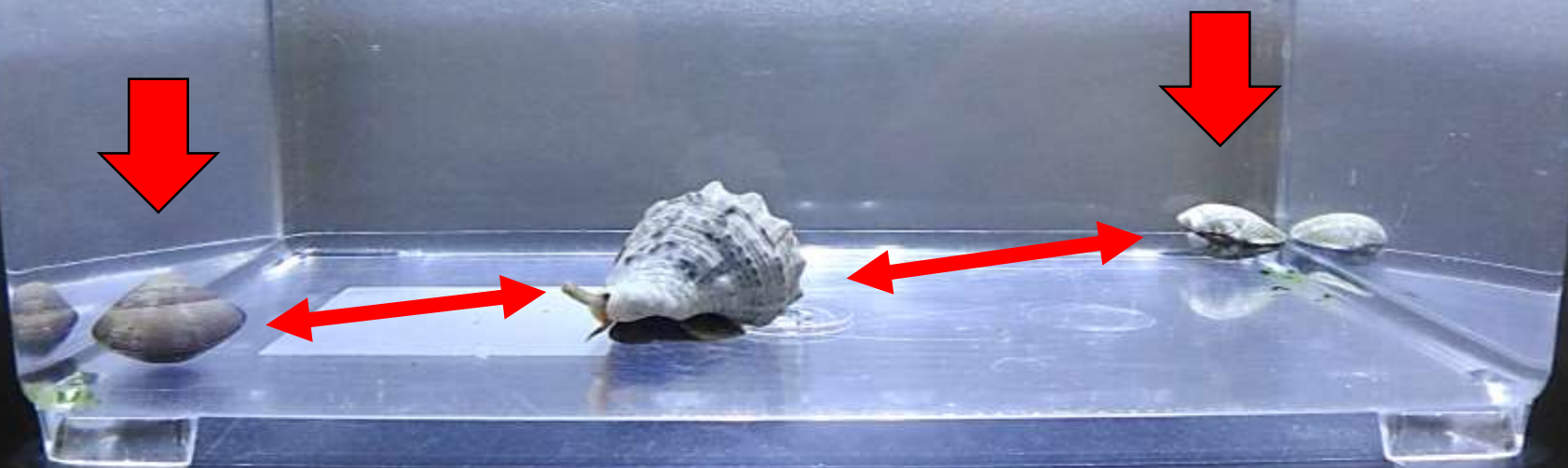
ハマグリ



マガキ



# 実験方法



## 実験方法

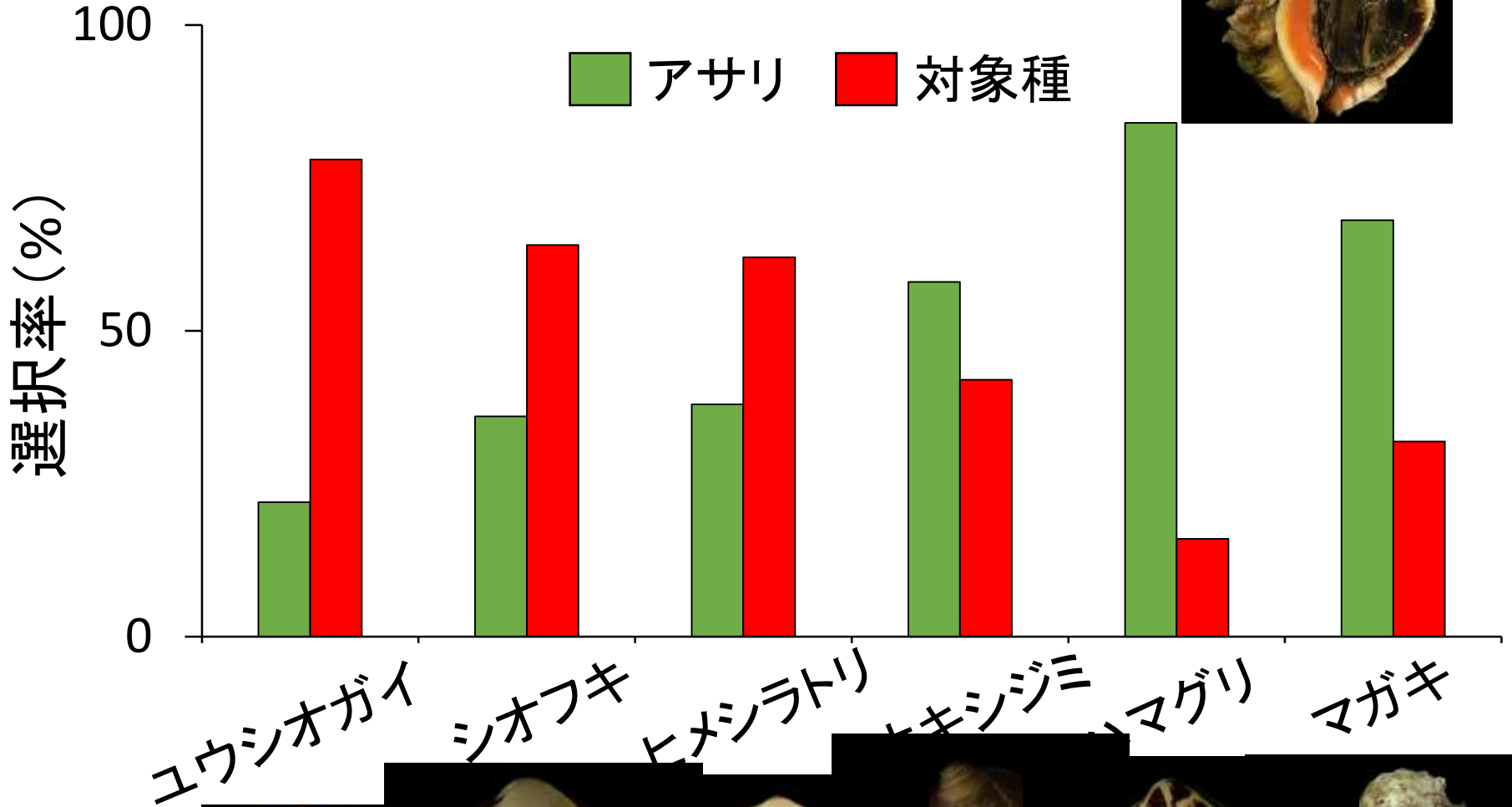
- ・二枚貝1種につき50回実験を行った
- ・アサリと対照種の殻長を揃えた
- ・アサリか対照種かのどちらが食べたかを選択率として算出した（例： シオフキ 40回/50回 → 80%）





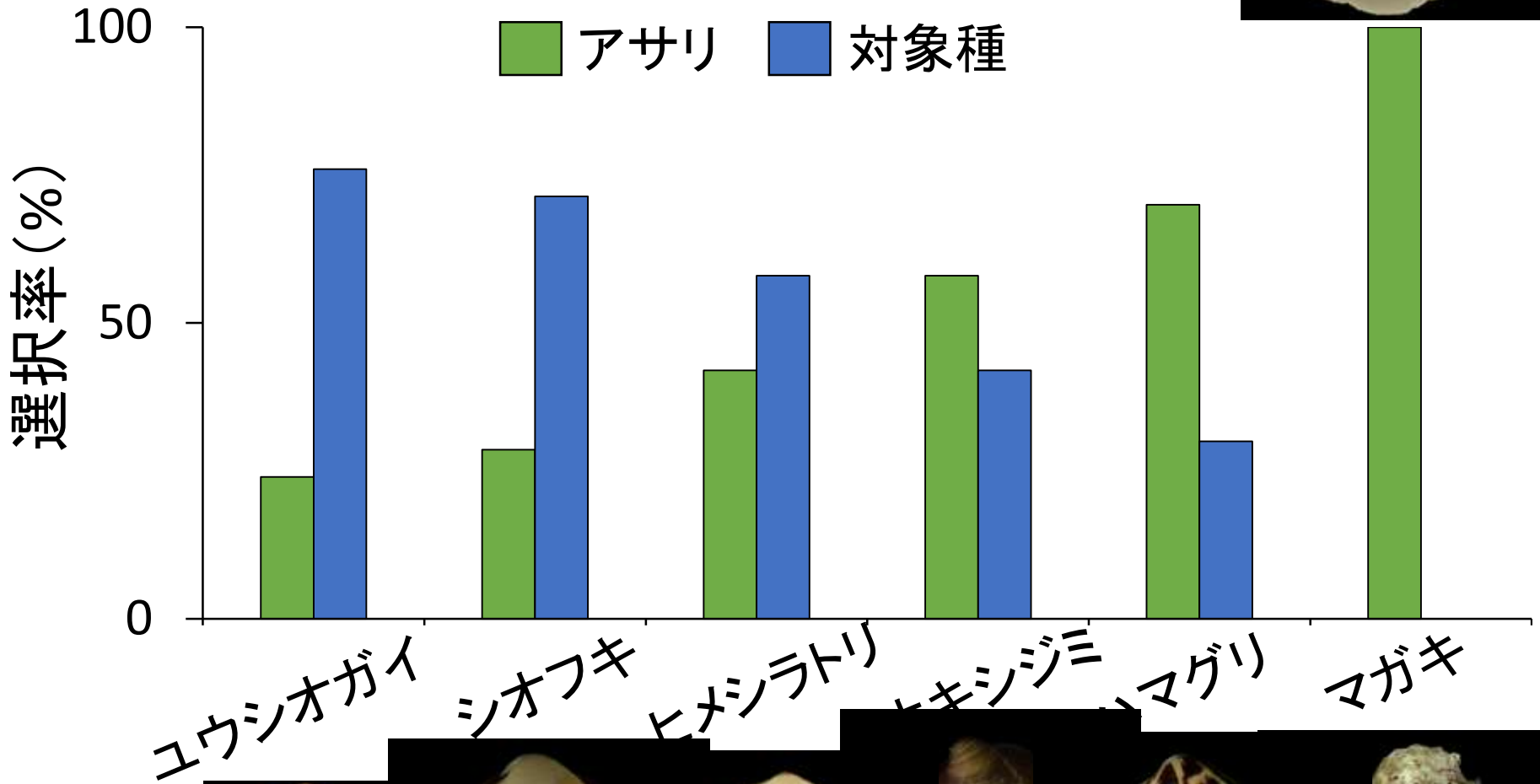


# アカニシの摂餌選択率

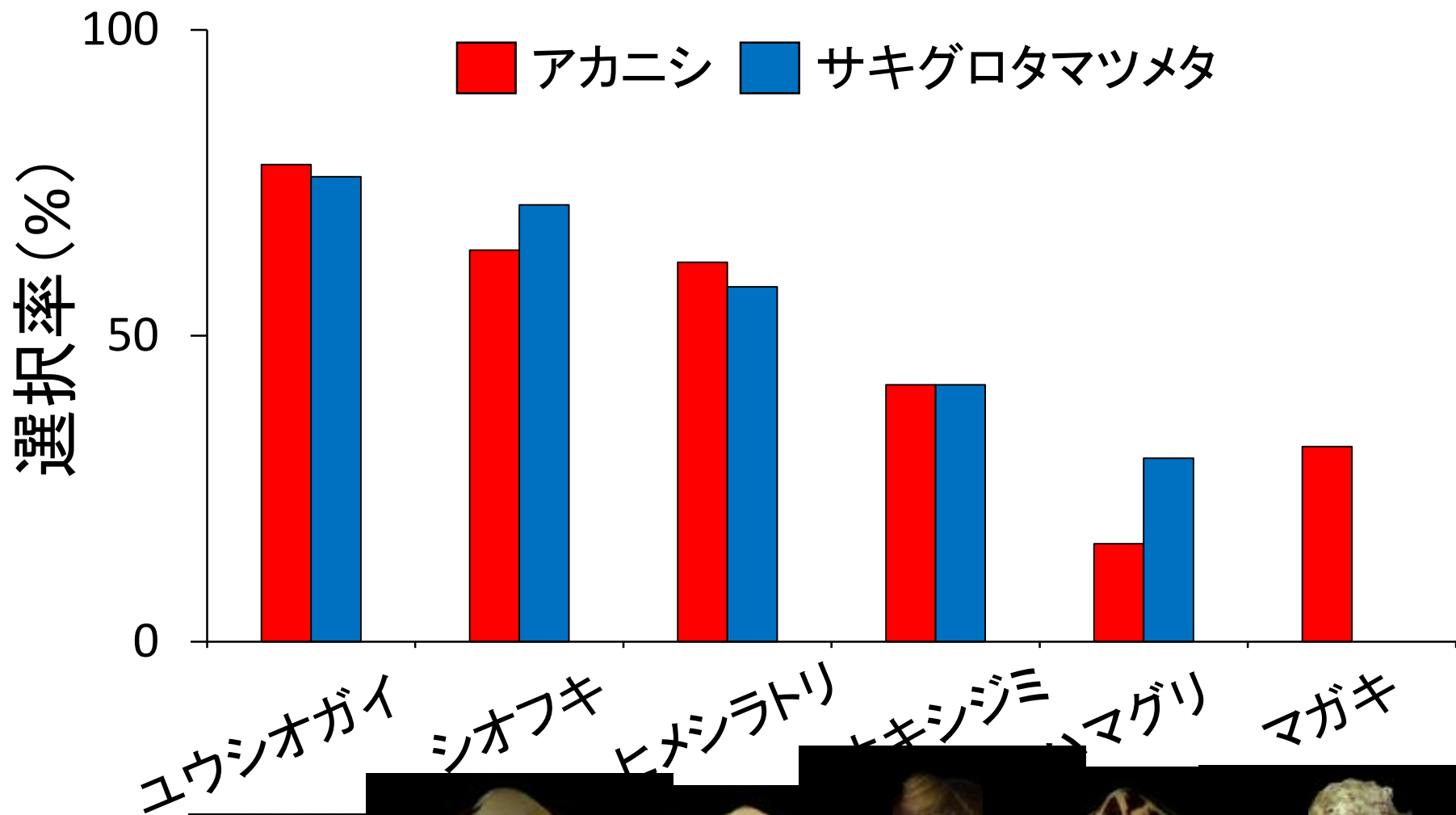




# サキグロタマツメタの摂餌選択率



# 肉食性巻貝の選択率比較





砂泥地

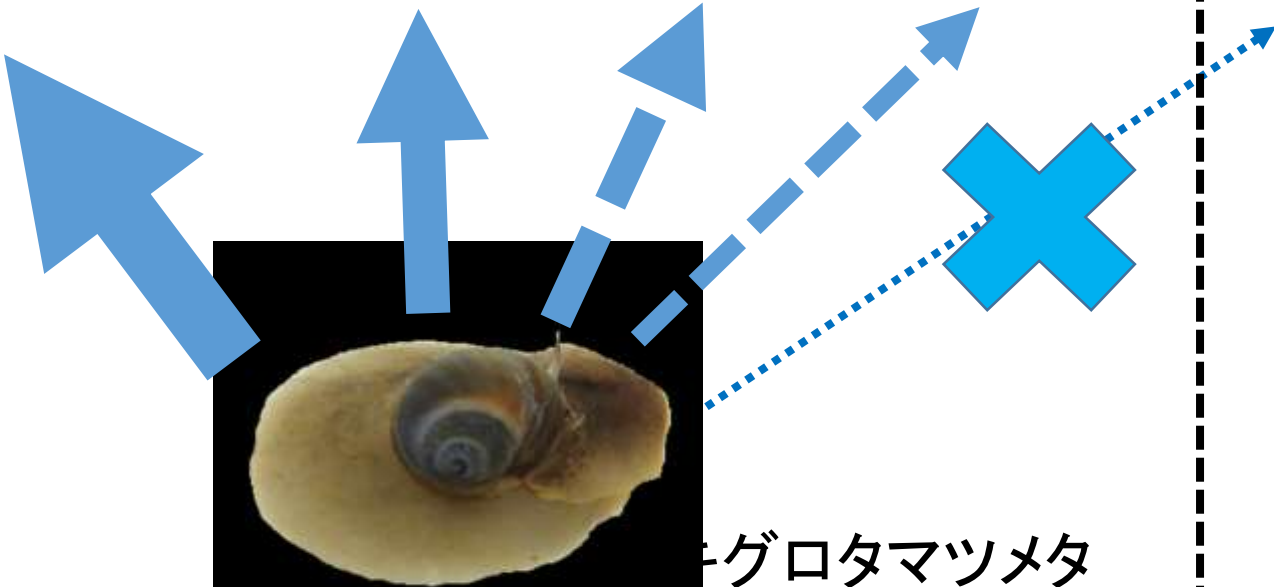
転石帯



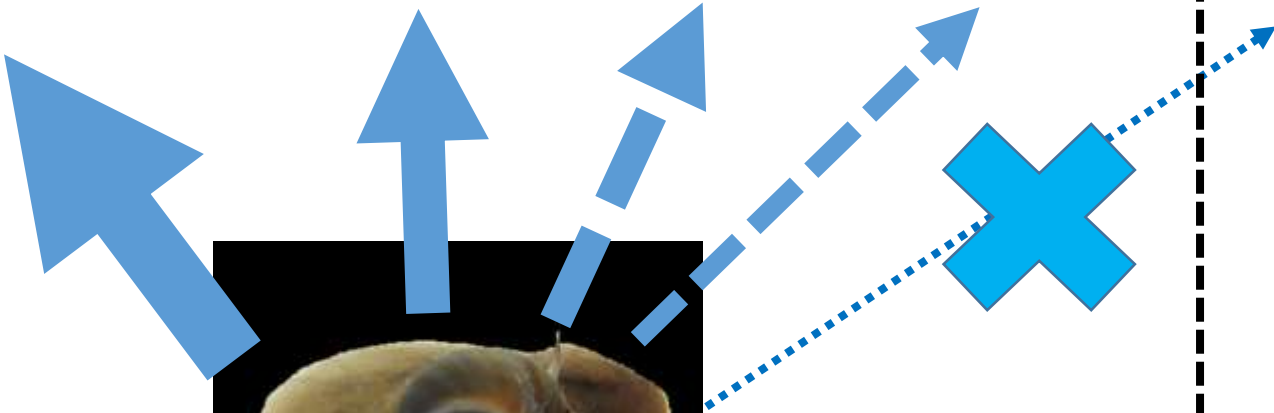
アカニシ



ユウシオガイ・シオフキ ヒメシラトリ オキシシ マガキ



グロタマツメタ



# 考察

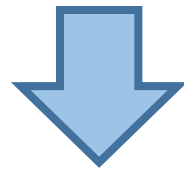
肉食性巻貝はユウシオガイ, シオフキ, ヒメシラトリを積極的に選び オキシジミ, ハマグリを避けた



選択率が高い貝は殻の厚みが薄く,  
選択率が低い貝は殻の厚みが厚いと考えられる.

殻の厚さが選択率を決定するのではないか

アカニシはマガキを捕食できたが  
サキグロタマツメタは捕食できなかった



捕食行動の違いが捕食の可否を決定



# 今後は...

巻貝による摂餌選択性の要因を検討するため、二枚貝の外部形態の比較を行う

- ・殻の厚さの計測
- ・殻長，殻高，殻幅のバランス

殻幅



殻長

